



しあわせなクリスマス



子ぶたのトリュフ

ヘレン・ピーターズ 文 もりうち すみこ 訳 さ・え・ら書房 933-ピ

ジャスミンは、獣医のお母さんとカーターさんの農場に行きました。子ぶたが生まれたと聞いてぶた小屋をのぞくと、弱々しい子ぶたがいます。ジャスミンは世話をするため、だまって子ぶたをつれて帰り、トリュフと名づけます。お父さんは、ジャスミンがカーターさんと話のできたので、乳離れするまで飼っていいといいました。クリスマスが近づき、プレゼントは何がいいかとたずねられますが、ジャスミンの望みはトリュフを飼いつづけることです。

ぐりとぐらのおきやくさま

なかがわ りえこ さく やまわき ゆりこ え 福音館書店 E-ヤ

もりでゆきがつせんをしていたのねずみのぐりとぐらは、ゆきのうえにながぐつのあとをみつけます。ぐりとぐらが、ながぐつのあとをつけていくと、あしあとはいえのドアのまえできえていました。そのいえは、ぐりとぐらのうちでした。ドアをあけると、おおきなながぐつがあり、かべには、まっかなオーバーがかかっていた。

クリスマスマーケット ちいさなクロのおはなし

降矢 なな 文・絵 福音館書店 E-フ

12がつのはじめ、まちのひろばにはたくさんのおみせがならびます。あるあさ、やきぐりうりのおばさんがみせをあけていると、クリスマスツリーのほうからなきごえがきこえました。ツリーのしたにおいてあったはこに、まっくろなこいぬがいました。こいぬはクロとなづけられ、おみせのひとたちのにんきものになります。でもクロをつれてかえることができないので、やきぐりうりのおばさんはもらってくれるひとがみつかるよう、はりがみをだしました。

クルミわりとネズミの王さま

ホフマン 作 上田 真而子 訳 岩波書店 943-ホ

フリッツとマリーは、ドロツセルマイアーおじさんからのクリスマスプレゼントをたのしみにしていました。マリーはプレゼントの中にクルミわりを見つけて、とても気に入ります。その夜、人形のおいてある居間でふしぎなことがおこりました。

クリスマスがちかづく

齊藤 倫 作 福音館書店 913-サ

セロがものごころついたときから、クリスマスの日はいつもおとうさんはるすで、おかあさんはデパートのおしごとでした。だからセロはクリスマスがだいきらいです。十さいのセロは、おかあさんにどうしておとうさんはふゆになると家にかえってこなくなるのか質問しました。するとおかあさんは、ないしょのやくそくがまもれるかとセロにききました。

ババールとサンタクロース

ジャン・ド・ブリュノフ さく やがわ すみこ やく 評論社 E-ブ

あるひこぎのゼフィールが、にんげんのところでは、まいとしクリスマス・イブにサンタクロースがやってくる、というはなしをきいてきました。ぞうのこどもたちは、サンタクロースにぞうのくにへもきてくださいとてがみをだします。サンタクロースからのへんじをまっているこどもたちをみて、ババールは、サンタクロースをさがしにでかけることにしました。

戦争をやめた人たち 1914年のクリスマス休戦

鈴木 まもる 文・絵 あすなろ書房 E-ス

1914年の7月、多くの国をまきこむ第一次世界大戦がはじまりました。その5か月後、12月24日の夜におこったことです。イギリス軍の兵士は、ドイツ軍との銃のうちあいでつかれはてていました。休んでいた若い兵士は、人の声がきこえた気がしました。それはむこうのドイツ軍からきこえる歌声で、クリスマスの歌「きよし このよる」です。若い兵士は空にむかって歌いだし、まわりの兵士たちもいっしょに歌いはじめました。